

主な活動イメージについて

○ 主な活動イメージ

共通ビジョンにおける「共通ビジョンの実現に向けた取組」の具体化に向けた検討を行ったうえで、効果的なタイミングで実施する。

連絡会議に参画する事業者等は、共通ビジョンの実現に向け、必要に応じて事業・取組を企画し、それを組織として助言・協力・支援する仕組みとする。

① 地域コミュニティの強化に向けた仕組みづくり

エリア内の事業者・店舗・ホテル等の地域活動への参加・協力を促す仕組みを構築する。

【例】 地域活動（清掃・防犯活動、各種行事など）への参加協力
参加・協力者に対する特典等の検討など協力しやすい環境整備 など

② 多文化共生のまちづくりの推進に向けた取組との融合

地域の歴史や、これまで取り組まれてきた多文化共生のまちづくりへの理解を深め、幅広い多文化共生の取組の推進に寄与する。

【例】 多文化共生に対する理解を深めるための勉強会の開催 など

③ 若手アーティストによる発表のための機会づくり

各施設における若手アーティストの発表機会を創出する。

【例】 各施設での企画における若手アーティストの起用
施設内に作品展示のためのスペースを設置
コンペ等による若手アーティストとのコラボ作品の制作 など

④ 若手アーティストの移住定住を促す活動支援

エリアに住みたくなるような活動支援の仕組みを構築する。

【例】 作品制作・展示等のための施設利用料の優遇（割引）や優先利用 など

⑤ エリアの認知度を高め来訪を促すためのPR活動

エリア内での取組や目指す方向性を一体的・効果的にPRする。

【例】 各施設での企画・取組をまとめて発信
市内芸術大学の学生などターゲットを明確にした情報発信
各施設の持つ広報力を相互に活用 など

⑥ 子育て世帯を呼び込むための取組実施

「文化芸術に触れ感性が養えるエリア」としての認知度を高め、子育て世帯の移住定住を促進する。

【例】各施設での児童を対象とした優遇・特別企画の実施及び情報発信 など

⑦ 回遊性向上による施設集客力の強化

各施設を回遊する仕組みづくり、施設間での情報共有・情報交換の場を設定する。

【例】エリア回遊を促すマップの制作、各施設で配架
各施設における企画等の同時期実施 など

⑧ 京都駅西部・東部エリアにおける取組との連動・連携

施設間の広報連携や企画の同時期開催を通じた回遊性向上により、京都駅周辺エリア一体で更なる賑わいを創出する。

【例】隣接する施設間における企画の同時期開催
京都駅周辺エリアとしての情報共有の場の設定 など